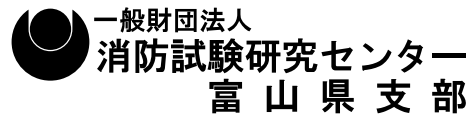


令和7年度 危険物取扱者試験 試験案内



消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により富山県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

試験案内は最後までよく読んで、記載されている内容に同意した上でお申し込みください。
申し込まれた方は、試験案内に記載されたすべての事項に同意されたものとみなさせていただきます。

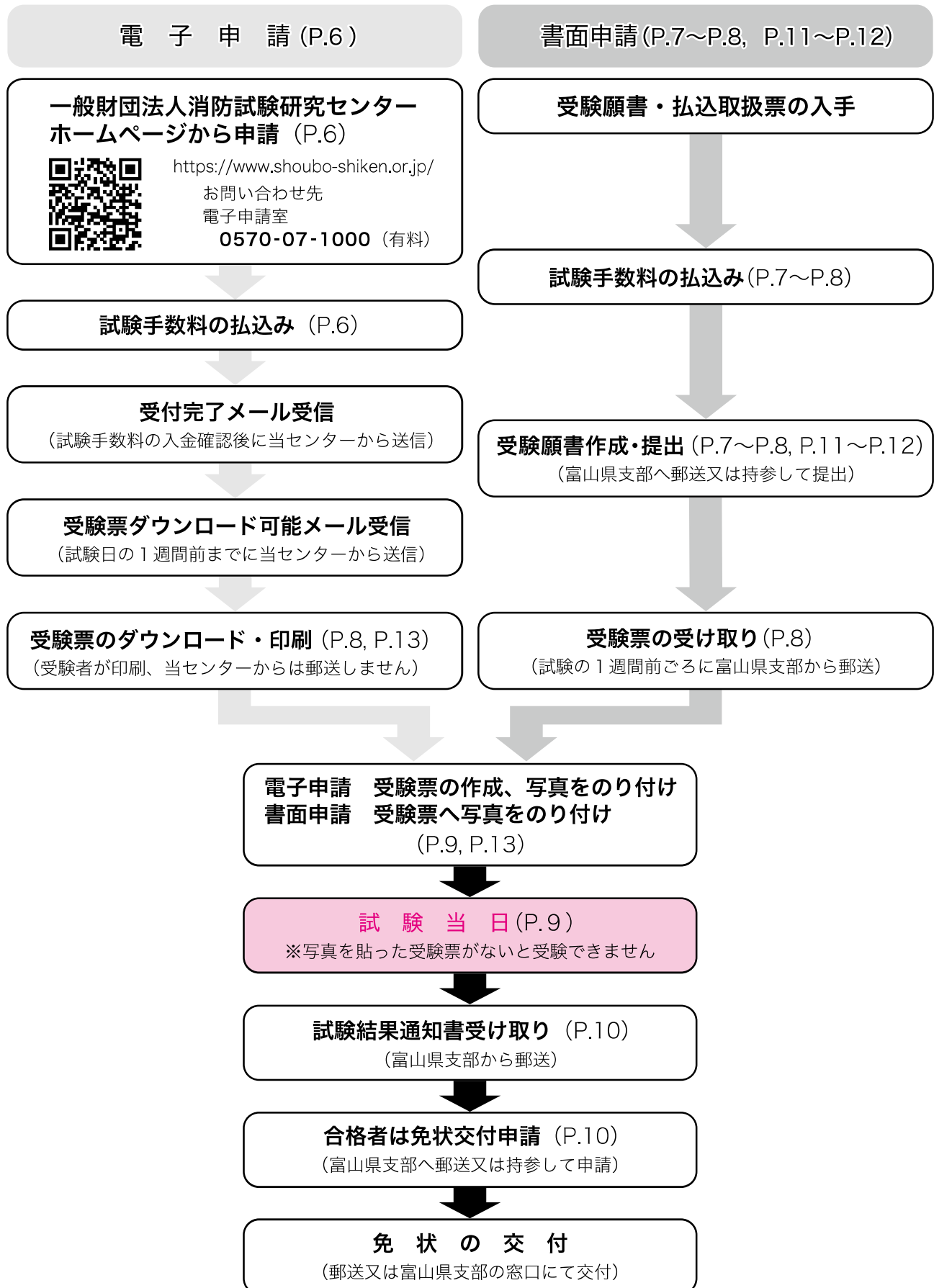
◆試験の日時、会場、種類及び受付期間

回	試 験 日	開始 時間	試 験 種 類	受験地	試 験 会 場	受付期間			
						書面申請	電子申請		
第 1 回	6月 7日(土)	9：30	甲 種	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	4月21日 (月)	4月21日 (月) 9：00		
		13：30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙 種						
	6月 8日(日)	10：00	乙種第4類			魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	}	}
		13：30							
	6月14日(土)	10：00	乙種第4類	高岡市	高岡商工ビル (高岡市丸の内1-40)	4月30日 (水)	4月30日 (水) 23：59		
		13：30	甲 種・丙 種 乙種第1～6類						
	6月15日(日)	10：00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	受付終了日 の消印有効			
		13：30	甲 種・丙 種 乙種第1～6類						
第 2 回	10月11日(土)	9：30	甲 種	富山市	富山県民会館 (富山市新総曲輪4-18)	8月25日 (月)	8月25日 (月) 9：00		
		13：30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙 種						
	10月12日(日)	10：00	乙種第4類			高岡市	高岡商工ビル (高岡市丸の内1-40)	}	}
		13：30							
	10月19日(日)	10：00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	9月2日 (火)	9月2日 (火) 23：59		
		13：30	甲 種・丙 種 乙種第1～6類						
	10月25日(土)	10：00	乙種第4類	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	12月8日 (月)	12月8日 (月) 9：00		
		13：30	甲 種・丙 種 乙種第1～6類						
第 3 回	令和8年 1月31日(土)	9：30	甲 種	富山市	富山国際会議場 (富山市大手町1-2)	}	}		
		13：30	乙種第1, 2, 3, 5, 6類 丙 種						
	令和8年 2月 1日(日)	10：00	乙種第4類			高岡市	高岡商工ビル (高岡市丸の内1-40)	12月16日 (火)	12月16日 (火) 23：59
		10：00	乙種第4類						
	令和8年 2月15日(日)	10：00	乙種第4類	魚津市	ありそドーム (魚津市北鬼江2898-3)	受付終了日 の消印有効			
		13：30	甲 種・丙 種 乙種第1～6類						

- (注) 1. 受験願書の受験地欄には、上表網掛け太枠部分の **受験地** を記入してください。
2. 乙種第4類の試験は、受験者数により、午前と午後に分割して実施しますが、午前・午後の試験時間帯は当支部が指定（受験票に記載）し、受験者本人が選択することはできません。
3. 試験会場の収容人員等の関係により、会場、時間等を変更する場合がありますので、ご了承願います。
4. 電子申請は、受付期間中24時間受付可能です。ただし、毎週土曜日の午前3時～午前5時は、システムメンテナンスのため、受付を中止しています。

受験手続から合格後の免状交付申請手続までの流れ

(受験申請方法は、電子申請と書面申請の2通り)



●電子申請は申請の受付完了以降、書面申請は受付締切日以降は、「試験日」・「試験の種類」等、**申請した内容の変更及び取り消し**はできません。

1 試験手数料

試験手数料（消費税非課税）は下表のとおりです。

払込み方法は電子申請と書面申請で異なります。詳しくは「5 電子申請の方法」（P.6）又は「6 書面申請の方法」（P.7～P.8）をご確認ください。

なお、一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

甲 種	乙 種	丙 種
7,200円	5,300円	4,200円

2 免状の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立会い、丙種は乙種第4類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

免状の種類		取り扱うことのできる危険物	
甲 種		すべての種類の危険物	
乙 種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類 等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム 等
	第3類	自然発火性物質 及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん 等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類 等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物 等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸 等
丙 種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油 等

3 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

試験種類	試 験 科 目	問題数	合 計	試験時間
甲種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間 30分
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
乙種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2 時 間
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
丙種危険物 取扱者試験	① 危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間 15分
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

4 受験資格等

(1) 甲種危険物取扱者試験

受験資格は、下表のとおりです。

全てコピー可

資 格 者	大学等及び資格詳細		甲種受験資格欄 記入略称	証明書類
① 大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） (P.14の別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校（備考1）		大学等卒	卒業証明書 又は 卒業証書・学位記 (学科等の名称が明記されているもの)
	大学・短期大学・高等専門学校の専攻科			
	高等学校・中等教育学校の専攻科（備考2）			
	防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等			
	専門職大学の前期課程を修了			
② 大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 (P.14～P.15の別表2参照)	大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院、専修学校（備考1）	通算可	15単位	単位修得証明書 (書式例2参照) 又は 成績証明書 (修得単位が明記されているもの)
	高等専門学校の専門科目			
	大学・短期大学・高等専門学校の専攻科			
	防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等			
③ 乙種危険物取扱者免状を取得している方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方		実務2年	乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱実務経験証明書 (様式願書B面裏)
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第3類（必須）○第1類又は第6類のどちらか1つ ○第5類（必須）○第2類又は第4類のどちらか1つ		4種類	乙種危険物取扱者免状
④ 修士・博士の学位を取得している方 (P.14の別表1参照)	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の学位も含む）		学位	学位授与証明書等、 修了証明書 又は 学位記・終了証書 (専攻等の名称が明記されているもの)

書式例1 専修学校用受験資格証明書

〇〇第 号
甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)
〇〇 年 月 日 入学 〇〇科〇〇コース 〇〇 年 月 日 修了
氏名 〇〇 〇〇 年 月 日生
学校教育法第124条に定める専修学校として 認可を受けた日及び文書番号 〇〇 年 月 日 号
課程の名称 〇〇〇〇専門課程
修業年限 2 年
課程の修了に必要な総授業時数 1700時間
上記のとおり証明する。 令和 年 月 日 (専修学校の所在地) 〇〇専門学校 学校長 氏名 〇〇 〇〇印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例2 単位修得証明書

〇〇第 号																
単位修得証明書																
〇〇 年 月 日 入学 〇〇部 〇〇科 〇〇 年 月 日 修了																
氏名 〇〇 〇〇 年 月 日生																
<table><tr><td>化学に関する 科目名</td><td>修得 単位</td><td>化学に関する 科目名</td><td>修得 単位</td></tr><tr><td>有機化学</td><td>4</td><td>高分子化学</td><td>2</td></tr><tr><td>無機化学</td><td>4</td><td>分析化学</td><td>2</td></tr><tr><td>燃焼工学</td><td>3</td><td>反応速度論</td><td>2</td></tr></table>	化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位	有機化学	4	高分子化学	2	無機化学	4	分析化学	2	燃焼工学	3	反応速度論	2
化学に関する 科目名	修得 単位	化学に関する 科目名	修得 単位													
有機化学	4	高分子化学	2													
無機化学	4	分析化学	2													
燃焼工学	3	反応速度論	2													
上記のとおり証明する。 令和 年 月 日 〇〇大学 学長 氏名 〇〇 〇〇印																

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

- 〔備考〕 1 ①、②の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。(ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です)
- (1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
 - (2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（書式例1参照）

- 2 ①の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 3 ②の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず合算して算定することができます。放送大学も同様に算定できます。（P.4の書式例2参照）
- 4 ③の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。受験願書B面(裏)の様式を使用してください。
- 5 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 6 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の「受験票（控）」又は「試験結果通知書」（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます（コピー可）。
- 7 「願書資格欄記入略称」は、受験願書A面の「甲種受験資格」欄に記入するものです。電子申請の場合は候補から選択できます。

(2) 乙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。既に乙種危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、試験科目の「法令」・「物化」の全部が免除になります。

また、第1類又は第5類の受験者で**火薬類免状を取得している方は申請により**、「物化」及び「性消」の一部が免除になります。免除資格がある方は、受験願書の科目免除欄に記入し、**免状のコピー**を提出してください（一部免除については、免除を受けた問題は点数加算されません。）。

免 除 資 格 者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する方	全 類	① 法 令	全 部 免 除	0問	10問	35分
		② 物 化	全 部 免 除	0問		
		③ 性 消		10問		
火薬類免状を有する科目の一部免除申請者	第1類 第5類	① 法 令		15問	24問	1 時間30分
		② 物 化	一 部 免 除	4問		
		③ 性 消	一 部 免 除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ、火薬類免状を有する科目免除申請者	第1類 第5類	① 法 令	全 部 免 除	0問	5問	35分
		② 物 化	全 部 免 除	0問		
		③ 性 消	一 部 免 除	5問		

備考 ① 火薬類免状とは、次の免状を意味します。

- ◇ 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）
- ◇ 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

- ② **乙種危険物取扱者免状を取得している方**（危険物取扱者免状・火薬類免状の両方を取得している方を含む。）が**複数（2種類）受験する場合の試験時間は1時間10分**です。

(3) 丙種危険物取扱者試験

- ① 受験資格は、必要ありません。
- ② 試験科目の免除

試験科目の免除については、下表のとおりです。免除資格者に該当し、**免除を希望される方は、次の2種類の証明書類を提出**してください。

- ① 消防団員歴を証明する書類の原本（消防団長等が証明するもの）
- ② 消防学校の教育修了証の写し（消防学校長が証明するもの）

免 除 資 格 者	試験科目	免除内容	問題数	合 計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法 令		10問	20問	1 時間00分
	② 燃 焼	全部免除	0問		
	③ 性 消		10問		

5 電子申請の方法

(1) 申請方法

(一財) 消防試験研究センターホームページから申請してください。

受付時間は、**受付開始日の9時00分から締切日の23時59分まで**となります。

(24時間対応。ただし、毎週土曜日午前3時～午前5時はシステムメンテナンスのため申請不可。)

証明書類が必要な試験を申し込むと、証明書類のデータファイルをアップロードするためのURLが記載されたメールが届きます。案内に沿ってアップロードしてください。



<電子申請のここがおすすめ！>

パソコンやスマートフォンから、24時間 簡単に申請できるほか・・・

- ・ 受験資格を証明する書類が必要な場合（実務経験、卒業証明書など）
- ・ 科目免除を希望し、資格証明の書類が必要な場合（火薬類免状保有者など）
- ・ 同一試験日に複数の受験を申請する場合 も申請できます。

(2) 試験手数料の払込（決済）方法

払込（決済）方法は、次の4種類から選択できます。

手数料は申請者の負担となります。**一旦払込みされた手数料はお返しできません。**

※網掛け部分は、令和7年4月1日から運用開始

決 済 方 法	決 済 内 容	手数料	領収書
ペイジー（Pay-easy）	情報リンク方式 オンライン方式	230円（税込） が別途発生	電子申請システム により発行可 (試験日翌日～ 試験日の翌年度末まで)
コンビニエンスストア 決済	セブン-イレブン ファミリーマート ローソン ミニストップ セイコーマート デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。）		
クレジットカード決済	VISA マスターカード JCB アメリカンエクスプレス ダイナース		
スマホ決済	PayPay メルペイ		

※ 主な留意事項 ※

以下の内容を必ず確認してください。

- ① パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、当センターのホームページから受験票（PDF）をダウンロードして自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること
- ② 資格の証明書類等を添付する必要がある申請の場合は、**審査結果等を通知する当センターからのメールを必ず受信できるようにしておくこと**
(証明書類に不備があった場合は差し戻ししますので、必ずメールを確認してください。)
- ③ 資格の証明書類等はPDF又はJPEG形式のファイルを準備すること
- ④ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと
〔電子申請には、免状番号（免状の写真下に記載されている12桁の番号）の入力が必要です。
免状番号のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面で申請してください。〕
- ⑤ 複数受験を希望する場合は、願書情報入力画面で必ず複数受験の追加申請を選ぶこと

詳しくは、(一財) 消防試験研究センターホームページ「電子申請に関するQ&A」をご確認ください。

電子申請に関するお問い合わせ先

(一財) 消防試験研究センター 電子申請室

専用電話（全国共通）0570-07-1000（有料）

受付時間 9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。）

(一財) 消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



6 書面申請の方法

(1) 申請に必要な書類

提出書類	留意点
① 受験願書	受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成してください。また、同一日に乙種の複数受験を申請する場合は一緒に提出してください。 (P.11の記載例参照)
② 振替払込受付証明書(お客さま用) ※ 郵便局窓口で押印される日附印があるもの	当センター指定の「振替払込受付証明書(お客さま用) ※赤枠部分 」を受験願書B面（表）の指定の欄にのり付けしてください。(P.8, P.12参照)
③ 危険物取扱者免状のコピー	該 当 者 の み 既に危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、必ず受験願書B面（裏）の指定の欄にのり付けしてください。(P.12参照) 甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。(P.4参照) 火薬類の免状を取得している方で、乙種第1類又は第5類の試験科目の一部免除を受ける方は、証明する免状のコピーの提出が必要です。(P.5(2)参照) 丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の提出が必要です。(P.5(3)参照)
④ 甲種受験資格を証明する書類	
⑤ 火薬類免状のコピー	
⑥ 消防団員歴を証明する書類（コピー可）及び消防学校の教育修了証の写し	

(2) 試験手数料の払込（決済）方法

払込（決済）方法は、次の5種類から選択できます。

手数料は申請者の負担となります。**一旦払込みされた手数料はお返しできません。**

※網掛け部分は、令和7年4月1日から運用開始

払込（決済）方法	決済内容	手数料	領収書
郵便取扱振込票		日本郵便(株)の定める手数料	
2次元コード経由	ペイジー (Pay-easy)	230円(税込)が別途発生	電子申請システムにより発行可 (試験日翌日～試験日の翌年度末まで)
	コンビニエンスストア決済		
	クレジットカード決済		
	スマホ決済		

(3) 支払い方法

次のア、イいずれかの支払い方法をご選択ください。

ア 郵便取扱振込票での支払い方法

- ① 受験願書に同封の「払込取扱票」の金額欄に受験する試験の種類に応じた試験手数料をご記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の**窓口でお支払い**ください。
- ② 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した「**振替払込受付証明書(お客さま用)**」 **※赤枠部分** を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。(P.8, P.12参照)

※ 注意事項

- ・ **ATM機では払込まない**でください。
- ・ 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合の申請は無効です。上記の場合、改めて「**振替払込受付証明書(お客さま用)**」 **※赤枠部分** を提出していただく必要があります。
- ・ 払込取扱票の「**振替払込受付証明書(お客さま用)**」 **※赤枠部分** に日附印が押印されていないと**受験申請できません**。
- ・ **富山県支部窓口での払込みはできません**。

【払込取扱票】（必ず当センター指定の払込取扱票を使用してください。）

この部分では受験申請できません。
受験者本人控えになりますので、
大切に保管してください。

票

十	万	千	百	十	百
¥	●	●	●	●	●

備考

振替払込請求書受領証

0	0	1	7	0	3
---	---	---	---	---	---

一般財団法人
消防試験研究センター

加入者番号
00170-3-136220

金額
¥●●●●

氏名
消防太郎 様

依頼人
(電話) 076-491-5565

料金
円

備考

日附印
○○○○
7. 4. 21
○○○

振替払込受付証明書（お客さま用）
（郵便局・ゆうちょ銀行へご依頼）
（この受付印を証明に捺印してください。）
（依頼人に交付してください。）

払込金額	加入者番号	依頼人住所
¥●●●●	00170-3-136220	富山市花園町4-5-20
氏名	氏名	氏名
消防太郎	消防太郎	消防太郎
（電話）076-491-5565		

貼つてください

日附印
○○○○
7. 4. 21
○○○

日附印なき証明書は無効
（払込金の消印は有効）
（振替払込受付センター）

受験する試験の種類に応じた払込金額を
ご自身で記入してください。
【危険物取扱者】
甲種……¥7, 200
乙種……¥5, 300
丙種……¥4, 200
※ 金額を訂正したものは無効

必ず郵便局の日附印を確認してください。
※ 日附印がないものは無効

赤枠部分「振替払込受付証明書（お客
さま用）」を受験願書B面（表）に貼り付
けてください。

イ 2次元コード経由での支払い方法

- ① 願書の項目を全て記載のうえ、願書二枚目B面（表）左下に印刷されている2次元コードから支払いサイトに入り、画面遷移に従ってお支払いください。
- ② 電子決済後、決済完了メール文中に記載してある18桁の「決済完了番号」を必ず受験願書B面（表）左下に記入してください。（P.12参照）

※ 願書に印刷されている2次元コードは願書ごとに異なります。2次元コード経由で決済エラー等のため支払いでなかった場合は、多重決済防止のため同じ2次元コードを利用することができません。
この場合、現在の願書を破棄し新しい願書にて決済するか、引き続き現在の願書を使用したい場合、前ページ、A記載の郵便取扱振込票での支払い方法により支払いをしてください。

(4) 受験願書等の提出方法

- ・受験願書は富山県支部へ持参又は郵送で提出してください。
- ・郵送する場合は、「簡易書留郵便（受付最終日の消印有効）」で送付してください。
※普通郵便での不着の場合、当センターは一切責任を負いませんのでご了承ください。

受 付 時 間	所 在 地
9時00分～17時00分 （土日祝日、年末年始を除く。）	〒939-8201 富山市花園町4-5-20（富山県防災センター2F） （一財）消防試験研究センター 富山県支部 宛

(5) その他

受付期間外に提出された受験願書及び記載事項等に不備のある受験願書は受理できません。この場合、提出された受験申請書類を返却します（返却費用は本人負担になります。）。

7 受験票及び写真について

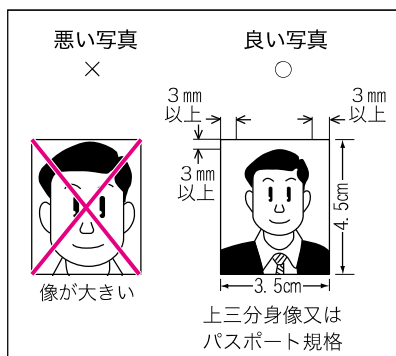
- (1) 受験票に記載されている試験日、集合時刻、試験開始時刻、試験会場等を必ずご確認ください。
なお、指定された試験日及び試験時間の変更はできません。
- (2) 受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることができますので、大切に保管してください。

受験票の送付（印刷）	電子申請	試験日の1週間前までに「受験票ダウンロード可能メール」を送信します。このメールには受験票は添付していませんので、受験票は当センターホームページの電子申請トップページからダウンロードし、印刷してください。当センターから受験票は郵送しません。何らかの理由により当センターからのメールが届かない場合でも、受験票のダウンロードは可能です。受験票をダウンロードする際に入力する「電子申請受付番号」が不明な場合は、「電子申請状況確認」画面で確認してください。なお、それ以外のお問い合わせについては電子申請室（0570-07-1000）へ連絡してください（土日祝日、年末年始を除く9時00分～17時00分）。
	書面申請	試験日の1週間前までに郵送します。（複数受験者は2通届きます。） 受験票が届かない場合又は受験票を紛失した場合は、試験日の前日（9時00分～17時00分（土日祝日、年末年始を除く。））までに富山県支部（076-491-5565）へ連絡してください。

- (3) 写真について（電子申請、書面申請共通）— **免状の写真に使用**します。

受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、**下記条件を満たす写真**を反らないようにしっかりと受験票（複数受験者は全ての受験票）にのり付けしてください（**セロハンテープは使**
用しない・のりがはみ出さないように要注意）。

また、下記の【不適切写真例】のほか、免状用として不適切な写真である場合は、合格後に**写真の再提出を求める場合があります**。



【写真の条件】

- ・縦4.5cm×横3.5cmの大きさで、ふちがないもの（左図参照）
- ・顔の上部・両サイドの間隔は、最低でも3mm以上あけること。
- ・受験日前6ヶ月以内に撮影された鮮明なもの（カラー・白黒のどちらも可）
- ・無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、申請者本人のみが撮影され、正面上三分身像又はパスポート規格。
- ・**背景と頭髪の色が同系色でなく、影がないもの**
- ・裏面に撮影年月日、氏名、年齢が記載されているもの（写真に字が浮き上がらない程度の筆圧で記載すること）
- ・デジタル写真は、従来の写真と同等以上の高画質のものに限ります。**写真専用紙に印刷し、ドット（網状の点）やにじみ等のない鮮明なもの**

【不適切写真例】

- ◎普通紙への印刷
- ◎表面にキズ、汚れ、凹凸のある写真
- ◎写真のコピー
- ◎イヤホン、サングラスやマスクを着用した写真
- ◎メガネフレームやメガネレンズの照明による反射、頭髪が目にかかっている写真等
- ◎**画像処理（加工修正）を施した写真**

8 試験当日の注意事項

- (1) 受験票を持参してください。受験票がない場合、受験票に貼付する写真をお持ちでない場合（**試験会場には写真を撮影できる機械はありません。**）は、受験できません。
- (2) 鉛筆又はシャープペンシル（HB又はB）とプラスチック消しゴムを持参してください。
- (3) 受験票に記載されている試験日、集合時刻、試験開始時刻、試験会場等を必ずご確認のうえ、**集合時刻までに着席**してください。試験開始前に受験上の留意事項を説明します。
- (4) 試験室内では、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまい、**試験室を退室するまで電源を入れないでください**。
また、これらの**電子機器類を時計として使用することはできません**。
- (5) 試験会場によっては、試験室に時計がない場合がありますので、自身で用意してください。（腕時計など卓上に置ける大きさのもので、操作せずに時刻を表示でき、音を出さないものに限る。）
- (6) 不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。
- (7) 本人確認のため、身分証明書（運転免許証、学生証等）の提示をお願いすることがあります。

9 試験の方法

甲種及び乙種の試験については五肢択一式、丙種の試験については四肢択一式の筆記試験です。

10 併願及び複数受験

- (1) 試験日または試験時間帯が異なる場合（併願受験）※乙種第4類は同一試験日の併願はできません。
- (2) 同一試験時間帯の場合（複数受験）

既に乙種危険物取扱者免状を有する方のみ、**2種類まで**受験できます。試験時間は、1種類35分、**2種類受験については1時間10分です**。

※ 書面申請では、併願受験、複数受験ともに、受験する試験の種類ごとに試験手数料をお支払いいただいたうえで、**それぞれ受験願書（計2通）を作成し、同一封筒で申請**してください。**電子申請でも併願及び複数受験を申請できます**。

11 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、**試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上**であること。（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）

なお、乙種第1類又は第5類の受験者であって、試験科目の一部が免除された方については、免除された以外の問題で上記の成績であること。

12 合格発表

- (1) 合格発表は、試験日より約3週間後を予定しています。
- (2) 合格者については、公示日の正午に当センターのホームページ上に掲示するとともに、支部事務所（富山県防災センター1階玄関前）に、合格者の受験番号を公示します。また、受験者全員に結果通知書を郵送します。

なお、試験結果の可否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

- (3) 試験会場外での業者による試験結果通知の有料サービスは、当センターとは一切関係ありません。

13 合格後の免状交付申請の手続き

- (1) 申請の方法

合格された方は、指定された日（試験結果通知書に記載）までに、次の書類等を富山県支部事務所へ郵送または持参してください。（簡易書留郵便で受付最終日の消印分までは、交付予定日の交付となります）

- (2) 提出する書類等

- ① 免状交付申請書および結果通知書（ハガキは切り離さないでください）

- ・記載事項に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、赤字で必ず訂正してください。
- ・申請日、申請者氏名（受験者名）、電話番号（日中連絡のつく番号）を必ず記入してください。

- ② 交付手数料（富山県収入証紙1種類につき2,900円分）

- ・富山県収入証紙を購入し、申請書の裏面に貼ってください。
- ・購入場所は、県内の警察署内交通安全協会他、富山県のホームページ「富山県収入証紙売りさばき所」で確認してください。
- ・富山県支部事務所では収入証紙は取り扱っておりません。窓口申請される方は事前に購入してから来所ください。
- ・複数種類申請の方や、会社等でまとめて複数人の申請するときも、富山県収入証紙は各申請書にそれぞれ貼付してください。（まとめて合計額を貼らないでください。）
- ・他県の方は現金書留の封筒の中に、現金2,900円と①、③、④を入れて送付してください。（令和7年10月以降、現金書留郵便での申請は取扱いできません。）
- ・令和7年9月末で富山県収入証紙は販売終了となります。令和7年10月以降の手数料納付方法については、販売終了前に富山県及び（一財）消防試験研究センター富山県支部のホームページに掲載予定です。

- ③ 免状送付用封筒（新規免状郵送用）

- ・新しい免状を郵送するための封筒です。
- ・定型封筒に送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入し、460円分（簡易書留郵便料 令和7年4月1日現在）の切手を貼り、裏面左下に受験番号を記入してください。
- ・簡易書留で発送しますので、不在の場合は不在票が入ります。再配達の手配を忘れずにしてください。保管期間1週間が過ぎますと富山県支部事務所に返送されますのでご注意ください。
- ・複数種類申請の方は、1通の封筒に合格の受験番号をそれぞれ記入してください。
- ・窓口で受け取る場合は、必ず申請時にお申し出ください。送付用封筒は不要です。

- ④ 既得危険物取扱者免状

- ・新しい免状に併記しますので、既に危険物取扱者免状の交付を受けている方は、免状を提出してください。提出しないと新免状の交付はできません。
- ・既得免状をなくされた方は、既得免状の再交付申請（手数料1,900円）が必要となります。
- ・氏名、本籍に変更のある方は、別途書換申請が必要です。
- ・再交付、変更による書換の手続きが完了しないと免状の交付ができません。
- ・タンクローリーの運転手等、免状の携帯義務がある仕事に従事している方は、ご連絡ください。

- ※ 免状交付申請期間内に申請されなかった場合、試験結果通知書に記載されている免状交付日より遅れます。

試験日から6ヶ月以上経過後に申請する場合は、撮影後6ヶ月以内の写真（1枚）が必要になります。

14 その他注意事項

- ① 自然災害その他の事故等により、会場や日程の変更等、緊急のお知らせがある場合は当センターホームページに掲載します。
- ② 試験会場にはごみ箱がありませんので、ごみは各自でお持ち帰りください。
- ③ 試験問題集及び解答カードを持ち帰ることはできません。
- ④ 試験室内は写真撮影禁止です。また、スマートフォン等の通信機器等の電源は必ずお切りください。
- ⑤ 試験会場では感染症対策にご協力をお願いいたします。また、会場内での会話はお控えください。

受験願書A面（1枚目）の記入例

注意事項

- 1 受験願書は必ず**受験者本人**が記入してください。
- 2 B面は切り離さず、2枚重ねて丁寧に記入してください。（願書は複写式になっています）
- 3 書き損じた場合は、横2本線を引いて、その上方に正しく書いてください。
- 4 **住所は受験票の送付先**を記入してください。



危険物取扱者試験受験願書（全国共通）

危

左づめで記入してください。外国籍の受験者は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

※

受験する都道府県名を記入

願書を記入した日

外国人の方は、「外国籍」と記入

受験願書B面(裏)の「都道府県コード」を記入

日中連絡がとれる番号を記入（申請書類に不備があった場合の連絡に使用）

合否が決定していないもので3ヶ月前以内に他県で申請又は受験した場合は記入してください。3種類以上ある場合は連絡してください。

主となるものに○

免状の写真の下に12桁の番号が記載されている場合は記入してください。

受験願書裏面の「都道府県コード」を記入してください。富山は16です。

左づめで記入
住民票に記載されている氏名を記入
濁点、半濁点は1マス

マスが不足する場合は、郵便（受験票）が届く程度に適宜省略してください。

試験日を記入

試験種類を記入

「富山市」「高岡市」「魚津市」の中から希望する受験地を選択し記入（P.1 注1 参照）

甲種受験者は、P.4の表の「記入略称」により記入

試験の一部免除の資格のある方は、該当するものに○をつけてください。

2種類の受験者は、それぞれの受験願書に他の種類を記入してください。（同時に複数の試験を受験する方のみ該当）

危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。

既得免状（既に交付を受けている免状）のある方は全て記入

元号コード
昭和：3
平成：4
令和：5

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名 富山県		申請日 令和 07 年 04 月 21	
申請者氏名 シヨウホドウ 消防		名 太郎		フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください	
生年月日 大(昭和) 03 年 07 月 08 日生		本籍 富山		都道府県コード 16	
郵便番号 939-8201		自宅電話番号又は携帯電話番号 076-491-5565		勤務先名又は学校名 (株)〇〇産業	
住所 富山県富山市花園町 4-5-20 アパガーデンフロント花 603号室		連絡先電話番号(携帯電話も可) 076-491-6000		内線 119	
試験日 令和 07 年 06 月 08 日		試験種類 甲(○) 乙(○) 丙(○) 第4類		受験地 富山市	
甲種受験資格 火薬類製造保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を (受ける) (受けない)		科目免除 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている) (該当する)		同時に複数の試験を受ける者は、この表裏以外に受ける種類を記入すること 甲(○) 乙(○) 丙(○) 第4類	
免状取得の有無について記入してください 有(○) 無(○)		免状番号 1164 1234 5678		元号コード (昭和3 平成4 令和5) 5 02 年 08 月 11 日 00111	
取得している危険物取扱者免状は全部記入してください		交付年月日		交付番号	
甲					
乙1					
乙2					
乙3					
乙4					
乙5					
乙6					
丙					
団体コード		受付機関コード		分類コード	

(A面) 試験センター発行 506

メールアドレスをお持ちの方は記入してください。なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、中央試験センターからのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定を行ってください（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）。

受験願書 B 面（2 枚目）の記入例

注 意 事 項

- 1 郵便取扱振込票で試験手数料払込みの際に郵便局又はゆうちょ銀行の窓口（ATM機での払込みは不可）で受領した「振替払込受付証明書（お客さま用）」を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。
- 2 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」では、受験申請できません。
- 3 「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼り付けられない場合、当センターでは責任を負えません。その場合は、再度払込みのうえ、新たな受験願書に貼り付けてください。

受験願書B面（表）

〇払込用紙で払込みの場合

ここに「振替払込受付領納書」をはってください。

振替払込 消通試験研究センター 00170-3-154220	受領印欄
--------------------------------------	------

利用可能な支払方法は、口座振替と現金です。現金の場合は、お振込みの金額を正確に入力してください。

〇2次元コード経由で払込みの場合

令和7年4月1日からご利用いただけます。

左記の2次元コードで手数料の払込みができます。



- ・2次元コードで手数料の払込みは、同封されている払込用紙は使用しないでください。
- ・2次元コード読み取り時の注意事項をよくお読みにし、試験日、受験地、試験種別を確認し、記入した顧客情報と異なる試験を選択しないようにしてください。
- ・この領書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっております。必ずこの2次元コードを使用してください。

利用できる決済手段：クレジットカード、コンビニエンスストア（セブンイレブン、ファミリーマート）、PayPay、銀行振込

決済完了番号（18桁）

※決済完了番号は、領書の裏面に記載されています。

図書識別番号 000000000000

〇領書裏面

この領書の裏面には、図書識別番号が記載されています。これは、領書裏面の「図書識別番号」欄に記載されています。

〇領書の裏面、記入方法

【郵便取扱振込票でお支払いの場合】
振込取扱票の赤枠部分「振替払込受付
証明書（お客さま用）」を貼り付けて
ください。

[illegible]

必ず郵便局の**日附印**を確認してください。
※ **日附印がないものは無効**

■【2次元コード経由でお支払いの場合】
電子決済後、決済完了メール文中にある
18桁の「決済完了番号」を記入してく
ださい。

受験願書B面（裏）

(裏)

各種証明書

この部分にのりづけ
なお、この部分に「振替払込機関証明書

都道府県等コード

北海道01	北海道01	東京都13	山梨県19	東京都23
青森県02	茨城県05	新潟県15	長野県20	埼玉県24
岩手県03	栃木県06	富山県16	静岡県22	千葉県26
宮城県04	群馬県10	石川県17	愛知県23	東京都27
秋田県05	埼玉県11	福井県18	三重県24	東京都28
山形県06	千葉県12	福井県18	三重県24	東京都28

乙種危険物取扱者登録証書

氏名	消防太郎		平成3年2月12日生
取得した危険物	第5類	第6類	有機過酸化物
登録した都道府県	令和2年1月15日から 令和7年4月1日まで (5年2月)		
登録場所の区分	・製造所 ・貯蔵庫 ・取扱所		
上記のとおり相違ないことを証明します。			
証明の日付	令和7年4月1日		
事業所名	甲平石油(株)		
通称名	代表取締役 甲平太郎		
電話	03 3460 7799	号	

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏

危険物取扱者免状

氏名	山平太郎	生年月日	平成3年2月12日	登録都道府県	山梨県
危険物	交付年月日	交付番号	交付期限		
第5類					
第6類					
第7類					
第8類					
第9類	051 69620	00027	なし		
第10類					
第11類					
第12類					
第13類					
第14類					
第15類					
第16類					
第17類					
第18類					
第19類					
第20類					
第21類					
第22類					
第23類					
第24類					
第25類					
第26類					
第27類					
第28類					
第29類					
第30類					
第31類					
第32類					
第33類					
第34類					
第35類					
第36類					
第37類					
第38類					
第39類					
第40類					
第41類					
第42類					
第43類					
第44類					
第45類					
第46類					
第47類					
第48類					
第49類					
第50類					
第51類					
第52類					
第53類					
第54類					
第55類					
第56類					
第57類					
第58類					
第59類					
第60類					
第61類					
第62類					
第63類					
第64類					
第65類					
第66類					
第67類					
第68類					
第69類					
第70類					
第71類					
第72類					
第73類					
第74類					
第75類					
第76類					
第77類					

各種証明書等をこの部分にのり付け
してください。

危険物製造所等における実務経験
2年以上で、甲種を受験する方のみ
必要です。

事業所（会社等）の印

証明者の役職印又は印

※両方必要

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼ってください(裏面に記載事項のある場合は、裏面のコピーも貼付。)

【電子申請者用の受験票】

(試験日の1週間前までに受験票をダウンロードできる旨のメールを送信します。)

※試験日まで作成して持参下さい。

(試験当日持参用)

切り離す

(本人控え用)

注意事項		危険物取扱者試験 受験票	
1 次の場合は受験することができません。 (1) 受験票がない場合 (2) 受験票に写真を貼っていない場合 (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。 3 受験票、鉛筆(B又はHB)。消しゴムを持参してください。 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。 6 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いすることがあります。 7 電話による合否の問い合わせには、応じられません。 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。 9 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに緊急情報又は重要なお知らせとして掲示します。 特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対して延期する場合の緊急情報は、試験開始時間の2週間前までに掲示します。 10 試験会場は全面禁煙です。 11 車、バイク、自転車での来場はご遠慮ください。 12 合格後の免許		写 真 縦4.5cm×横3.5cm 写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載。6ヶ月以内に撮影したもの(正面、無帽(頭戴上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無歯、上三分身像)しつかりのり付けてください。(セロハンテープ不可) 受験番号 E1-0001 試験の種類 乙種第4類 カナ氏名 ショウタウ タロウ 氏 名 消防 太郎 試験日時 令和00年00月00日 [1/2] 時 分集合 時 分試験開始 試験会場 ○○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1 (試験室) 001番室 免除科目 免除科目なし 資格判定 コード 01 既得免許 1315021211101E200579 免なし 001-06-0001 60002 試験当日、この受験票は回収します。	
(一財) 消防試験研究センター 富山県支部 〒939-8201 Tel. 076-491-5565 富山県富山市花園町4-5-20 富山防災センター2F		一切 - リ - 取 - っ - て - く - だ - さ - い	

危険物取扱者試験 受験票 (控)	
受験番号 E1-0001	試験の種類 乙種第4類
カナ氏名 ショウタウ タロウ	
氏 名 消防 太郎	
試験日時 令和00年00月00日 [1/2] 時 分集合 時 分試験開始	
試験会場 ○○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1	
(試験室) 001番室	
免除科目 免除科目なし	資格判定 コード 01
既得免許	
受験者 現住所	

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

1 受験票がない場合

2 受験票に写真を貼っていない場合

3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要なもので、大切に保管してください。

写真をのりで貼ってください。(セロハンテープ不可)

住民票(危険物取扱者免許を取得している方は免許に記載)の氏名を記入してください。

背中合わせ(山折り)にして、のり付けてください

※ ご自身でA4の用紙に印刷してください。当センターからは郵送しません。なお、印刷する際に拡大・縮小して印刷しないでください。

印字されている住所を確認してください。試験結果通知書は、記載されている住所に郵送されます。

【書面申請者用の受験票】(試験日の1週間前までに郵送します。)

写真をのりで貼ってください。(セロハンテープ不可)

複数受験者の方は「複数受験者の座席番号」が記載されます。

住民票(危険物取扱者免許を取得している方は免許に記載)の氏名を記入してください。

危険物取扱者試験 受験票 (控)		危険物取扱者試験 受験票	
複数受験者座席番号(1234) 受験番号 E1-0001 試験の種類 乙種第4類 カナ氏名 ショウタウ タロウ 氏 名 消防 太郎 試験日時 令和00年00月00日 [1/2] 時 分集合 時 分試験開始 試験会場 ○○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1 (試験室) 001番室 免除科目 免除科目なし 資格判定 コード 01 既得免許 1315021211101E200544 免なし 001-06-0001 04603 試験当日、この受験票は回収します。		写 真 縦4.5cm×横3.5cm 写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載。6ヶ月以内に撮影したもの(正面、無帽(頭戴上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無歯、上三分身像)しつかりのり付けてください。(セロハンテープ不可) 複数受験者座席番号(1234) 受験番号 E1-0001 試験の種類 乙種第4類 カナ氏名 ショウタウ タロウ 氏 名 消防 太郎 試験日時 令和00年00月00日 [1/2] 時 分集合 時 分試験開始 試験会場 ○○○○試験会場 ○○県○○市○○町1-1-1 (試験室) 001番室 免除科目 免除科目なし 資格判定 コード 01 既得免許 1315021211101E200544 免なし 001-06-0001 04603 試験当日、この受験票は回収します。	
999-9999 ○○県○○市○○町 1-23-45 消防 太郎 様 受験票 (一財) 消防試験研究センター 富山県支部 〒939-8201 富山県富山市花園町4-5-20 富山防災センター2F Tel. 076-491-5565		切り離す	

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。次の場合は受験することができません。

1 受験票がない場合

2 受験票に写真を貼っていない場合

3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要なもので、大切に保管してください。

(本人控え用)

(試験当日持参用)

切り離す

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科	サ	高分子材料工学科	生物応用工学科	物質分子科学科		物質分子学科
	応用生物工学科		材料開発工学科	生物機能工学科	物質分子学科		
	応用生命科学科		材料科学科	生物工学科	物質理工学科		
	応用生命工学科		材料科学工学科	生物資源科学科	プロセス工学科		
	応用微生物工学科		材料加工学科	生物資源利用学科	分子工学科		
カ	環境生命科学科		材料学科	生物生産科学科	分子システム工学科		
	環境物質工学科		材料機能工学科	生物分子科学科	分子生物学科		
	環境マテリアル学科		材料工学科	生物薬学科	分子生命科学科		
キ	基礎理学科	シ	材料物性学科	精密素材工学科	分子素材工学科		
	機能高分子学科		材料物性工学科	精密物質学科	マ	マテリアル科学科	
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科	生命理学科		マテリアル工学科	
	機能材料工学科		色染工芸学科	製薬学科	ム	無機材料工学科	
	機能物質科学科		資源工学科	繊維工学科	ヤ	冶金学科	
	機能分子工学科		資源素材工学科	繊維高分子工学科		冶金工学科	
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
			食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
ケ	原子工学科	セ	森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
原子力科			製剤学科	物質科学工学科		林産工学科	
原子力工学科			製糸学科	物質工学科			
原子炉工学科							

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学	カ	化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学 環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論	キ	金属の相変態 金属表面処理 金属物性	コ	抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学
イ	移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学			ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料		高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学
エ	衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロセラミックス エレクトロニクス材料工学	キ	機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成 金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学	コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物		高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学
オ	応化・プロセス工学					サ	細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学
カ	回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学						

化学に関する学科又は課程等の名称							
サ	材料強度学	セ	製菓学	ハ	培養工学	ヘ	分離工学
	材料強度物性学		生理活性物質学		爆発工学		分離システム工学
	材料結晶学		精錬漂白論		薄膜材料工学		分離装置工学
	材料工学		石油開発工学		醗酵学		粉粒体工学
	材料構造解析学		石油生産工学		醗酵工学	平衡論	
	材料精製工学		接合学		醗酵工業論	平衡・反応論	
	材料精密工学		接着及び接着剤		醗酵生産学	放射線計測学	
	材料組織学		接着学		パルプ学	放射線物性計測学	
	材料組織形成論		セメント工学		パルプ工学	膜機能工学	
	材料熱力学		セラミック科学		半導体工学	マテリアル工学	
シ	材料反応学	ソ	セラミック基盤材料	ヒ	半導体材料	ミ	水処理工学
	材料物性学		セラミック工学		半導体デバイス工学		水処理実験
	材料物理工学		セラミック材料学		反応工学		水の分子工学特論
	材料プロセス設計		セラミックス概論		反応性物質材料		
	錯塩基及び酸化還元		セラミックス材料工学		反応操作	ム	無機材料学
	産業廃水処理		セラミックス電子材料		反応速度論		無機材料工学
			セラミックプロセッシング				無機電子制御反応
			セルロース科学				無機薬品製造学
	色彩工学		繊維高分子工学				免疫薬剤学
	色染実験		選鉱学				木材化学
ス	システム安全工学	タ	先端材料物性特論	フ	非金属材料	ヤ	木材成分学
	焼結固体反応論		相平衡論		非晶質科学		木材糖化論
	焼成材料		相変態論		微生物遺伝学		木質材料学
	醸造学		素材工学		微生物学		木質資源化学工学
	醸造工学		耐火物概論		微生物機能学	木質資源工学	
	醸造工業概論		耐熱材料特論		微生物工学		
	状態方程式特論		多結晶材料工学		非鉄材料学		
	触媒工学		単位操作		非平衡論		
	触媒設計		単位反応学		表面・界面工学		
	触媒反応工学		単結晶材料工学		表面工学		
セ	食品衛生学	チ	蛋白質工学	フ	ファインケミカル工業分析	ユ	冶金学
	食品栄養学		超高温材料		複合材料機能学		冶金工学
	食品科学		調剤学		腐食及び防食学		冶金反応工学
	食品工学		鉄鋼材料学		物質移動プロセス特論		薬科学
	食品工業微生物学		鉄鋼表面処理		物質科学	薬学	
	食品分析学		鉄冶金		物質工学	薬剤学	
	植物分子生物学		定性分析		物質構造解析論	薬品学	
	人工結晶		定量分析		物質構造論	薬品工業概論	
	人造繊維工学		電解製錬工学		物質生科学	薬品製造学	
	新薬論		電解反応		物質生物工学概論	薬品製造工学	
スセ	水質学	テ	電気材料学	ハ	物質プロセス工学	リ	薬品分析学
	製剤学		電気電子材料科学		物質分析法		薬物学
	製剤工学		電気電子材料学		物性科学		薬用植物学
	製紙科学		電極反応論		物性予測論		薬理学
	製紙学		電子材料		物性論	薬効学	
	製紙工学		電子物性		物体学		
	製造薬学		伝熱工学		物理薬学		
	生体機能工学		同位体地球科学		プラントエンジニアリング		
	生体機能電気科学		毒劇物学		プロセス工学		
	生体機能利用学		特殊機能セラミックス		プロセスシステム工学		
生体工学	毒性学	プロセス制御工学					
生体高分子学	毒物学	プロセスダイナミクス					
生体触媒学	土壌学	プロセス熱力学					
生体光反応学	塗装学	分光分析					
生体分子工学	塗料工業科学	分散系物性学					
生体分子反応	ニューセラミック学	分子遺伝学					
製鉄製鋼耐火物	ニ	分子解析学					
生物機能開発学	ネ	分子機能					
生物機能工学	燃焼学	分子機能設計学					
生物機能利用学	燃焼工学	分子構造論					
生物工学	燃焼熱工学	分子シミュレーション特論					
生物資源科学	燃焼物理科学	分子情報計測学					
生物資源利用学	粘土工学	分子生物科学					
生物反応工学	燃料工学	分子生物学					
生物物性学	燃料工業	分子設計論					
生物分子科学	燃料燃焼潤滑論	分子素材工学					
生物薬学	燃料燃焼論	分子熱力学					
精密材料物性	燃料分析学	分子微生物学					
精密素材工学	ノ	分子薬理学					
精密分離工学	ハ	粉体工学					
精密有機合成特論	バイオテクノロジー	分離科学					
	バイオプロセス工学						

個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確かつ安全に取り扱います。

1 当センターが取り扱う個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名・学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限し適切に取り扱います。

試験会場

受験地	会場名称・所在地	受験地	会場名称・所在地
富山市	富山国際会議場 富山市大手町1番2号 	高岡市	高岡商工ビル 高岡市丸の内1-40 
富山市	 富山県民会館 富山市新総曲輪4-18	魚津市	 ありそドーム 魚津市北鬼江 2898-3

※二次元コードを読み込んで地図を表示するには、Googleマップを表示できる環境が必要です。

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※近隣商業施設などへの「無断駐車」は絶対にしないでください。

違法駐車、迷惑駐車は警察に通報される場合もあります。

駐車に関するトラブルについて、当センターは一切責任を負いません。

お問い合わせ先



〒939-8201 富山市花園町4-5-20
(富山県防災センター2F)

TEL 076-491-5565
FAX 076-491-6000

アクセス（地図）



〈富山県防災センター〉

駅前バス乗り場⑥番から発車の
山田・速星・八尾方面行きに乗車
「西田地方2丁目」で下車

※二次元コードを読み込んで地図を表示するには、
Googleマップを表示できる環境が必要です。

※ 一般財団法人 消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。